



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 久米 俊樹 (TEL) 0798-56-5010
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	104,001	3.7	3,206	△27.8	4,168	△11.3	2,871	△14.6
2022年3月期第2四半期	100,264	6.9	4,438	16.6	4,698	22.9	3,362	59.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 5,044百万円(41.5%) 2022年3月期第2四半期 3,564百万円(34.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	43.60	—
2022年3月期第2四半期	51.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	221,118	97,080	43.2
2022年3月期	221,206	94,261	41.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 95,434百万円 2022年3月期 92,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	19.00	—	23.00	42.00
2023年3月期	—	21.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	222,000	2.4	7,000	△33.8	8,200	△30.6	5,600	△18.9	84.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	70,000,000株	2022年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,085,354株	2022年3月期	4,166,255株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	65,868,378株	2022年3月期2Q	65,782,783株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明資料の入手方法)

当社は、2022年11月17日(木)に機関投資家・アナリスト向けのオンライン説明会を開催する予定です。当日の説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の防疫と経済活動の両立が進む一方、急激な円安の進行やロシア・ウクライナ情勢等に起因する資源価格の高騰など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、2030年を志向した長期経営計画[SG-Vision2030]のPhase 1に当たる、中期経営計画[SG-2023]の活動2年目を迎え、企業価値向上に向けた諸施策を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は133,910百万円(前年同期比11.6%増)、売上高は104,001百万円(同3.7%増)となりました。なお、当第2四半期末の受注残高は243,764百万円(同33.3%増)であります。

損益面は、鋼材価格の上昇等に伴い、営業利益は3,206百万円(同27.8%減)、経常利益は4,168百万円(同11.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,871百万円(同14.6%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(特装車)

車体等の製造販売は、受注、売上ともに減少いたしました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は57,087百万円(前年同期比1.2%減)、売上高は43,717百万円(同9.6%減)となり、営業利益は746百万円(同79.2%減)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は96,244百万円(同37.7%増)であります。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、受注は増加し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は20,619百万円(前年同期比8.5%増)、売上高は18,327百万円(同2.9%増)となりましたが、営業利益は1,157百万円(同39.5%減)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は46,287百万円(同5.7%増)であります。

(産機・環境システム)

メカトロニクス製品は、真空製品の受注及び売上が増加した結果、分野全体でも受注、売上ともに増加いたしました。

また、環境関連事業も、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は24,172百万円(前年同期比69.7%増)、売上高は15,405百万円(同52.1%増)となり、営業利益は1,255百万円(同399.5%増)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は36,929百万円(同80.2%増)であります。

(流体)

前期に実施したM&A効果などにより受注及び売上が増加した結果、当セグメントの受注高は13,868百万円(前年同期比31.7%増)、売上高は8,723百万円(同39.8%増)となり、営業利益は309百万円(前年同期は58百万円の損失)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は11,511百万円(前年同期比42.6%増)であります。

(航空機)

防衛省向けは、受注は減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、民需関連は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は9,898百万円(前年同期比6.4%増)、売上高は11,521百万円(同13.1%増)となり、営業利益は751百万円(前年同期は431百万円の損失)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は40,514百万円(前年同期比44.1%増)であります。

(その他)

建設事業において、受注、売上ともに減少した結果、当セグメントの受注高は8,264百万円(前年同期比9.6%減)、売上高は6,306百万円(同16.1%減)となり、営業利益は347百万円(同15.3%減)となりました。

なお、当第2四半期末の受注残高は12,276百万円(同1.9%減)であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、売上債権や棚卸資産が増加したものの、現預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて87百万円減少し221,118百万円となりました。負債は、短期借入金が増加したものの、法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて2,907百万円減少し124,038百万円となりました。純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより前連結会計年度末に比べて2,819百万円増加し97,080百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.8%から43.2%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2022年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

①2023年3月期 通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	225,000	9,000	9,200	6,000	91.14
今回修正予想 (B)	222,000	7,000	8,200	5,600	84.96
増減額(B-A)	△3,000	△2,000	△1,000	△400	—
増減率(%)	△1.3	△22.2	△10.9	△6.7	—
(参考)前期実績 (2022年3月期)	216,823	10,569	11,821	6,907	104.96

※10月以降の前提となる為替レートは、1米ドル=135円としております。

②修正の理由

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、為替が円安に推移していること等による増益効果はあるものの、鋼材価格等の高騰や、半導体不足等による生産活動の停滞が、期初想定を上回る見通しであることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、いずれも前回発表予想から下方修正することといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,600	17,239
受取手形、売掛金及び契約資産	62,114	59,054
電子記録債権	8,831	13,714
商品及び製品	4,067	4,719
仕掛品	21,619	24,257
原材料及び貯蔵品	21,238	23,633
その他	4,266	5,936
貸倒引当金	△121	△139
流動資産合計	148,615	148,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,185	19,113
その他（純額）	23,244	23,394
有形固定資産合計	42,430	42,507
無形固定資産		
	2,876	2,811
投資その他の資産		
その他	27,310	27,409
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	27,284	27,383
固定資産合計	72,590	72,703
資産合計	221,206	221,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,898	26,237
1年内償還予定の社債	800	800
短期借入金	2,891	7,257
1年内返済予定の長期借入金	2,443	2,257
未払法人税等	2,527	941
工事損失引当金	3,194	3,321
その他	28,147	23,793
流動負債合計	65,903	64,609
固定負債		
社債	1,600	1,200
長期借入金	44,519	43,344
退職給付に係る負債	12,962	12,992
その他	1,959	1,891
固定負債合計	61,041	59,428
負債合計	126,945	124,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,657
利益剰余金	65,852	67,178
自己株式	△5,954	△5,838
株主資本合計	91,617	92,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096	783
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	821	2,172
退職給付に係る調整累計額	△694	△126
その他の包括利益累計額合計	847	2,454
非支配株主持分	1,795	1,646
純資産合計	94,261	97,080
負債純資産合計	221,206	221,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	100,264	104,001
売上原価	84,778	88,550
売上総利益	15,485	15,451
販売費及び一般管理費	11,046	12,245
営業利益	4,438	3,206
営業外収益		
受取利息	28	32
受取配当金	110	113
持分法による投資利益	51	44
為替差益	103	1,040
その他	175	91
営業外収益合計	469	1,323
営業外費用		
支払利息	98	113
休止固定資産費用	64	73
借入手数料	6	5
債権流動化費用	5	21
その他	34	147
営業外費用合計	209	361
経常利益	4,698	4,168
特別利益		
投資有価証券売却益	-	202
負ののれん発生益	486	-
特別利益合計	486	202
特別損失		
固定資産処分損	115	38
特別損失合計	115	38
税金等調整前四半期純利益	5,069	4,331
法人税、住民税及び事業税	1,168	948
法人税等調整額	473	84
法人税等合計	1,642	1,032
四半期純利益	3,426	3,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	64	426
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,362	2,871

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,426	3,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△313
為替換算調整勘定	△58	1,182
退職給付に係る調整額	73	568
持分法適用会社に対する持分相当額	139	307
その他の包括利益合計	137	1,745
四半期包括利益	3,564	5,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,479	4,478
非支配株主に係る四半期包括利益	85	565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,069	4,331
減価償却費	2,663	2,584
売上債権の増減額 (△は増加)	1,518	△1,018
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,126	△5,294
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,243	△133
その他	△4,400	△4,175
小計	1,481	△3,705
利息及び配当金の受取額	227	254
利息の支払額	△106	△115
法人税等の支払額	△2,694	△2,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,092	△6,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,825	△1,832
無形固定資産の取得による支出	△368	△321
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,429	△1,995
その他	115	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,507	△4,074
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,959	4,000
短期借入金の返済による支出	△30	△63
長期借入れによる収入	29	-
長期借入金の返済による支出	△1,246	△1,189
社債の償還による支出	△400	△400
配当金の支払額	△1,249	△1,514
非支配株主への配当金の支払額	-	△24
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△770
その他	△125	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62	△121
現金及び現金同等物に係る換算差額	81	814
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,581	△9,519
現金及び現金同等物の期首残高	22,667	26,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,086	17,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	46,711	16,827	4,638	5,449	6,101	79,728	7,520	87,249	—	87,249
アジア	493	986	4,136	393	—	6,009	—	6,009	—	6,009
北米	0	—	569	330	3,881	4,782	—	4,782	—	4,782
その他	1,163	—	786	68	204	2,222	—	2,222	—	2,222
顧客との契約 から生じる収益	48,368	17,814	10,131	6,241	10,187	92,743	7,520	100,264	—	100,264
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	48,368	17,814	10,131	6,241	10,187	92,743	7,520	100,264	—	100,264
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	11	25	1	4	—	41	878	920	△920	—
計	48,379	17,839	10,132	6,245	10,187	92,785	8,399	101,184	△920	100,264
セグメント利益 又は損失(△)	3,592	1,913	251	△58	△431	5,266	409	5,676	△1,237	4,438

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,237百万円には、セグメント間取引消去39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,276百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「流体」セグメントにおいて、TurboMAX Co., Ltd.、他1社の株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において、269百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「航空機」セグメントにおいて、天龍エアロコンポーネント株式会社の株式を取得し、連結子会社としております。当該事象による負ののれん発生益は、当第2四半期連結累計期間において、294百万円であります。さらに、「特装車」セグメントにおいて、株式会社OSK、株式会社WAKOの株式を取得し、連結子会社としております。当該事象による負ののれん発生益は、当第2四半期連結累計期間において、192百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装车	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	40,887	16,797	5,074	5,988	6,184	74,932	6,306	81,239	—	81,239
アジア	1,032	1,530	5,915	1,972	—	10,450	—	10,450	—	10,450
北米	0	—	1,038	472	4,806	6,317	—	6,317	—	6,317
その他	1,796	—	3,377	289	530	5,994	—	5,994	—	5,994
顧客との契約 から生じる収益	43,717	18,327	15,405	8,723	11,521	97,695	6,306	104,001	—	104,001
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	43,717	18,327	15,405	8,723	11,521	97,695	6,306	104,001	—	104,001
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21	5	0	4	—	32	951	983	△983	—
計	43,739	18,332	15,406	8,727	11,521	97,727	7,257	104,985	△983	104,001
セグメント利益	746	1,157	1,255	309	751	4,220	347	4,567	△1,361	3,206

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,361百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,379百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント変更)

経営上の意思決定を行う区分を基礎とするマネジメント・アプローチをさらに徹底するため、第1四半期連結会計期間より、事業部を軸としたセグメント区分に変更しております。これに伴い、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載し、従来の「特装车」「パーキングシステム」「産機・環境システム」「航空機」の4区分から「特装车」「パーキングシステム」「産機・環境システム」「流体」「航空機」の5区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。